

## 優秀賞

### 水は生命の源

高岡市立牧野中学校 三年 山尾 悠輔

SDGsの目標六「安全な水とトイレを世界中に」では、二〇三〇年までに世界中の人々が安価で安全な飲料水を手に入れるという目標が掲げられています。同時にトイレをはじめとする下水道施設や衛生施設を拡大し、屋外での排泄をなくすことも目標の一つです。

しかし日本の現状は、水道普及率は約九十八パーセントで、残りの二パーセントの約二百三十万人が水道を利用できない状態です。そして、日本のトイレの下水道普及率は約八十八パーセントで、残りの二十パーセント地域では、くみ取り式のトイレを利用しています。水は処理されてから川に流されるため、感染症のリスクはほとんどないということです。

世界規模で見ると、水道の設備がない暮らしをしている人は二十二億人以上います。トイレがなく、道端や草むらなど屋外で用を足す人は四億千九百万人です。衛生管理が行き届いていない水を利用すること、たくさんの方が人体や命に危険を及ぼしているのです。

僕は、安全で美味しい水を飲み、米を研いだり野菜を洗ったりして料理にも利用しています。そして、きれいな水でシャワーをしたりお風呂に入ったリ洗濯をしていることが当たり前になっているけれど、美味しく安全できれいな水が利用できるのは、とても貴重で恵まれたことだから、僕はまず、今過ごしている環境に感謝して、水のありがたみを感じることが大事だと思います。

世界中の人々が、安全できれいな水を利用できるようにするために、水の無駄遣いをしないようにしなければなりません。そこで、僕や家族が毎日の生活で実践していることは、

一、節水機能付きのシャワーヘッドを使って、さらにシャワーの時間を減らす。

二、食器や洗い物は、桶の中でため洗いをして、最後に水ですすぐ。

三、顔を洗う時は洗面所の栓をしたり、こまめに蛇口を閉めたり、歯みがきをする時にはコップを使うなどして、水を出しっぱなしにしない。

四、お風呂は家族が続けて入るようにする。

五、トイレの水を流す時に、大小のレバーを使い分ける。

六、洗濯洗剤によつては、すすぎ一回にして洗濯機の節水機能も活用する。

また、水を汚さないための取り組みや水資源の保護には生活排水を減らすことも大切です。

一、川や池にゴミを捨てない。

二、食べ残しをせず、調理くずや油を流さない。

三、食器や鍋の汚れはきれいに拭き取ってから洗う。

四、洗剤は適量を使う。

このように、生活習慣を見直し、こまめな工夫をすることが重要です。日頃から節水を心がけることも、僕達にできる大切な行動の一つだと思います。

自分一人の力はとても小さいけれど、このことを理解して多くの人が節水を心がけ、汚れを流さない工夫をすることで大きな力になり、「安全な水とトイレを世界中に」の目標達成に繋がっていくのだと思います。